

## ◆ 2020 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：原市沼を愛する会

23A-09

代表者：代表 飯坂 陽治

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて26年になります。

蓮池は観蓮者が蓮を身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた20の池からなり、多い時は来客数が1万人を越え、現在に至っています。池の周りの土止めは、ベニヤ板と間伐材の木杭から耐久性のある資材までを使い、耐久年数を伸ばして、ボランティアの労力軽減を図るとともに、遊歩道の安全性を保持していくため、土止め補修と安全柵の設置を進めています。さらに、蓮池全体の老朽化部分や不便なところの改善も併せて進めています。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

10月～12月、梅池・西池・南池・三郎池・四郎池の主遊歩道側の土手補修を、耐久性資材（亜鉛メッキ鋼板と鉄パイプ）を使って行うとともに、長い中央池の真中を横切る遊歩道を作りました。また、ブラックベリーの支柱も竹から鉄パイプに替えて頑丈にしました。



（蓮池の土留め作業）



（作業協力のボランティア・メンバー）

### 3. 活動の成果

遊歩道の修繕、ブラックベリー棚の改修、休憩所の補修などの活動の成果は、2021年夏の原市沼蓮池の一般開放時に、よりはっきりすると思います。



（主遊歩道側の蓮池の土止め）



（ブラックベリーのパイプ支柱）

### 4. 今後に残された課題

池の土手補修は優先度の高い所から実施していますが、まだ手を付けていない所も順次行いたいと考えています。また、遊歩道に生える雑草を抑え、ボランティアの労力の軽減を図るため、遊歩道に防草シートの適用を検討したいと考えています。